

# CNAレポート・ジャパン

Conferencing industry News report, research & Analysis - CNA Report Japan

創刊：1999年12月  
 発行日：毎月15日・月末  
 取材・編集・発行：橋本啓介

テレビ会議・ウェブ会議・電話会議システム専門 定期レポート Vol. 14 No.9 2012年5月15日号

編集: [editor@cnar.jp](mailto:editor@cnar.jp) 広告: [pr@cnar.jp](mailto:pr@cnar.jp) 読者登録: <http://cnar.jp> Copyright 2012 CNA Report Japan. All rights reserved.

## 製品・サービス動向-国内

### NTT 西日本と NTT スマートコネクト、クラウド型リモートアクセスサービスと Web 会議サービスを開始

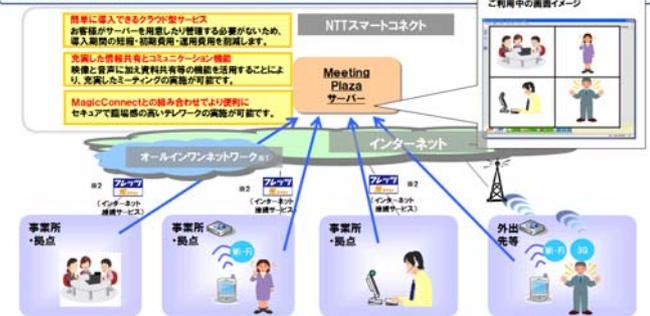
西日本電信電話株式会社(大阪府大阪市、以下、NTT西日本)とエヌ・ティ・ティ・スマートコネクト株式会社(大阪府大阪市、以下、NTT スマートコネクト)は、クラウド型リモートアクセスサービスならびに、Web 会議サービスを5月1日から開始すると発表。(4月23日)

「Bizひかりクラウド ワークスタイル MagicConnect」  
 ●外出先や自宅等から社内のデスクトップ環境にセキュアにアクセスし、普段社内で利用している環境で業務を実施できるクラウド型リモートアクセスサービスです。



MagicConnect サービスイメージ (NTT 西日本、NTT スマートコネクト資料)

「Bizひかりクラウド ワークスタイル MeetingPlaza」  
 ●PCにカメラとヘッドセットを接続するだけで、最大32拠点まで同時に接続してミーティングが実施できるクラウド型Web会議サービスです。



MeetingPlaza サービスイメージ (NTT 西日本、NTT スマートコネクト資料)

●MagicConnectとMeetingPlazaを組み合わせてご利用いただくことが可能です。  
 ●リモートアクセスとWeb会議を組み合わせたセキュアで臨場感の高いテレワーク環境をご提供します。

**■臨場感の高いテレワーク環境**

- 社内映像配信設備により高い臨場感で仕事ができます。
- 自宅のPCにUSBキーを挿すだけで安心、簡単です。
- 社内情報ファイルを社外に流出させない安心設計です。
- 勤務管理、生産性確認、勤務状態の記録が可能です。

**■社外から社内の情報資産を活用したWeb会議**

- 社外から社内情報にアクセスが可能です。
- 自宅の任意のPCにカメラ、ヘッドセットを接続し、USBキーを挿せば使えます。
- 社内情報を利用しながらWeb会議が出来ます。
- 社内情報ファイルを社外に流出させない安心設計です。

MagicConnect と MeetingPlaza を組み合わせてテレワーク環境で利用した際のサービスイメージ (NTT 西日本、NTT スマートコネクト資料)

このサービスは、外出先や自宅等から社内のデスクトップ環境にセキュアにアクセスし、普段社内で利用している環境で業務を実施できるクラウド型サービス。PC からだけでなくスマートフォンやタブレットからでも利用ができる。

特長としては、ユーザID・パスワードに加えて、ハードウェア固有情報や生体情報などを組み合わせた「多要素認証」や自席 PC から手元 PC へのファイルコピーを禁止するなどの機能がある。

導入は、自席 PC にソフトウェアをインストールするだけで簡単に利用が可能でネットワーク機器の設定変更や別途特別な装置の追加は不要となっている。加えて、接続に必要なソフトウェアは全て USB キーに格納済みとなっていることから、外出先の手元 PC でも社内の自席 PC にアクセスすることが可能となっている。

NTT スマートコネクトが、リモートアクセスサービス「Biz ひかりクラウド ワークスタイル MagicConnect(マジックコネクト)」と Web 会議サービス「Biz ひかりクラウド ワークスタイル MeetingPlaza(ミーティングプラザ)」の提供を行い、一方、NTT 西日本は、「フレッツ 光ネクスト」や「オールインワンネットワーク」と組み合わせたサービスの販売取次ぎを行う。

## 内田洋行、遠隔会議を簡単に使えるパッケージ、遠隔会議システムに独自の制御アプリとテーブルを一体提供

株式会社内田洋行(東京都中央区)は、遠隔会議を簡単に使えるパッケージ「RingOn!」の販売を2011年11月28日より開始。(2011年11月28日)



RingOn!の詳細機能(内田洋行 資料)

遠隔会議システムは、企業や大学などを中心に普及・活用が進んでいるが、リモコンに不慣れである、カメラ位置の調整などの操作、前の利用者が設定を変更してしまった、などの操作上のトラブルや問い合わせへの対応が課題になっていた。こういった操作上のトラブルを低減させ、遠隔会議システム操作を簡単にすることを目的に開発された。

RingOn!は、以下をパッケージとして提供している。(1)シスコシステムズ社製の遠隔会議システム「Cisco Telepresence System Quick Set C20」。(2)遠隔会議システムを操作するためのAndroid 端末用の制御アプリケーション。内田洋行で開発。(3)専用のテーブル。特長は、カメラ位置を細かく調整せずに参加者全員が相互に見やすい位置に座ることができるよう設計されている点。(4)その他必要な周辺機器。

必要な機器類などをパッケージとして提供するため、オフィスの会議室や空きスペースを、即座に遠隔会議空間へと変更できるメリットがあると同社では説明している。

Android 端末用の制御アプリケーションの特長は以下の

通り。(1)遠隔会議の操作。たとえば、遠隔会議の接続操作では、「会議のタイプ」選択(遠隔・通常)、「接続拠点」選択、「電話をかける」選択の3ステップのボタン選択で迷わず即座に遠隔会議を開始できる。



### 3ステップボタンで簡単な接続(内田洋行 資料)

(2)遠隔会議のほかモニター操作も可能。複数のリモコンを使わずに、制御アプリケーションのひとつの画面操作で、モニター操作も簡単に行える。たとえば、2画面のモニターにプレゼンテーションや各種会議資料を簡単に提示することができる。遠隔会議からの切り替えも、タブレットをワンタッチするだけで行える。(3)会議毎に制御アプリケーションの「映像出力設定」や「音量設定」などの操作変更が行われても、会議終了と同時に初期画面設定に自動的に戻る。そのためいつでも同じ環境で会議をスタートできる。



専用テーブル(内田洋行 資料)

一方、専用テーブル(5人用と7人用の2種類)は、会議に最適な機器配置と収納を考慮しており、以下の点が特長。(1)利用者が接続先と自然な目線で遠隔会議ができるようにカメラを適度な高さに配置できる。(2)テーブルの形状を遠隔会議システムのカメラの撮影範囲に合わせた台形となっている。参加者全員がカメラに映りやすく、モニターを見やすいようになっている。(3)機器をテーブル下に収納できるようになっている。配線が人為的に変更されるなどのトラブルも未然に防ぐことができる。

## ビジネス動向-国内

### 日立ソリューションズ、次世代コラボレーションシステムをマイクロソフト テクノロジー センターに設置

株式会社日立ソリューションズ(東京都品川区)は、日本マイクロソフト株式会社(東京都港区)のマイクロソフト テクノロジーセンター(MTC)に、次世代コラボレーションシステム「Hitachi Advanced Collaboration System」とインタラクティブホワイトボード「StarBoard」を設置すると発表。(4月10日)

システム導入を検討するユーザ企業を対象に、多地点におけるプレゼンス情報確認、音声通信、映像、書き込み、資料共有、メモ取りなどの機能を紹介。コラボレーション環境の利点やマイクロソフト製品との親和性を理解してもらうのが目的だ。

日立ソリューションズは、「マイクロソフト テクノロジーセンター アライアンスプログラム」に参加。MTC を活用し企業向けコラボレーション市場の積極的な開拓を推進する。

MTC は、製品のブリーフィングやシステム構成の設計支援、実機によるシステム検証などを行う技術センター。米欧アジアに27ヶ所に年間6万人以上が利用しているという。日本では2009年、大手町に開設。2012年4月には品川本社30階に移転。施設や提供コンテンツ、パートナー企業との連携をさらに強化している。

### ネットワンパートナーズ、バリューアッド・ディストリビュータ資格を取得

ネットワンパートナーズ株式会社(東京都品川区)は、2012年3月末、シスコシステムズ合同会社(東京都港区)の「バリューアッド・ディストリビュータ資格(TV-VAD: TelePresence Video - Value Added Distributor)」を取得したことを発表した。(4月17日)

ネットワンパートナーズは、ネットワンシステムズ株式会社(東京都品川区)のグループ会社。2009年にシスコの「ソリューションディストリビュータ契約」を締結し、幅広いシスコ

製品の取扱とソリューションをパートナー企業および顧客企業に提供してきた。

今回新たな資格取得により、「テレプレゼンスビデオ製品販売パートナー「Cisco TV-ATP: TelePresence Video - Authorized Technology Provider」資格を保有しなければ、シスコのテレプレゼンス製品を取り扱うことができなかったパートナー企業でも、ネットワンパートナーズを介することで、提供することが可能となった。

今後、ネットワンパートナーズは、製品提供、構築・保守支援、メーカ窓口機能の3点で、パートナー企業を包括的に支援し、同製品分野における、大規模から中堅までの顧客企業への付加価値の高いソリューション提供の一助を担い、シスコテレプレゼンス製品の拡販を行っていく。

## ビジネス動向-海外

### Intercall 社、クラウド型ビデオ会議サービスの Blue Jeans Network 社と提携

米 Intercall 社(日本法人:インターコール株式会社、東京港区)は、クラウド型ビデオ会議サービスを提供する米 Blue Jeans Network 社とクラウドサービス連携で提携した。(4月16日)

Intercall 社は、グローバルに音声会議や Web 会議サービスを提供する大手遠隔会議サービス事業者(米 West Corporation 社関連企業)。

一方、Blue Jeans Networks 社は、2009年11月に設立。H.323 テレビ会議システムその他、Skype、Google、Microsoft Lync などとの相互接続を実現したクラウド型ビデオ会議サービスを展開している。今回の提携によって、Blue Jeans Networks 社のサービスを Intercall 社のユーザ顧客に提供する。

今回の提携は、Blue Jeans Networks 社にとってより多くのユーザにリーチできる機会を与えるものと同社では期待しているようだ。また、遠隔会議システム市場のトップ企業とのパートナーシップは、Intercall 社の市場におけるリーダーシップを維持していく上で重要という。これまでアドビシステムズ社、

シスコシステムズ社、IBM 社、マイクロソフト社、ポリコム社、タンバーク社(現在:シスコ社)とパートナーシップを組んできた。

## Glowlpoint 社のクラウドサービス、Skype と GoogleTalk に対応

米 Glowlpoint 社は、同社のクラウドマネージドビデオサービス「OpenVideo クラウド」で、Skype と GoogleTalk に対応したと発表。(4 月 12 日)

OpenVideo クラウドは、シスコシステムズ社、ポリコム社、ライフサイズ社などの H.323 テレビ会議システムから、iPhone や iPad、アンドロイド端末、加えて、固定電話、携帯電話まで対応する。

今後、Skype と GoogleTalk は、参加者コード(private participant code)で、OpenVideo クラウド上の「Virtual Video Room(VVR)」に接続し、他の H.323 端末などとの多地点会議などが行えるようになる。

この OpenVideo クラウドにはすでに 4 万端末が登録されているという。

この発表に先立ち 3 月 26 日、H.323/SIP/TIP に対応した「Multi-protocol Video Trunk(MPVT)」の提供によるクラウド B2B 交換サービス(Exchange Services)の拡張。そしてそれを受けて Tata 社や Level3 社、Masergy 社、XO 社、Qwest 社、PCCW 社、Verizon Business 社などとのパートナーシップ。Glowlpoint 社の Equinix Ethernet Carrier Exchange への接続。加えて、新たなオンラインスケジューリングシステムも CustomerPoint ポータルを通して提供することなどを発表している。

## エリクソン社とポリコム社、通信事業者向け HD 品質のビジュアルコミュニケーションソリューションを発表

米ポリコム社とエリクソン社は、今年 2 月にバルセロナで開催された Mobile World Congress(MWC)において、両社の技術を組み合わせた、通信事業者向けのエンドツーエ

ンドのソリューションを発表した。(米:2 月 27 日、日本:4 月 12 日)

エリクソン社の「The Ericsson IMS system」とポリコム社の「Polycom RealPresence」を組み合わせることで(joint solution)、通信事業者は、HD 品質のビデオサービス(VaaS)およびユニファイドコミュニケーションサービスを、あらゆる規模の企業に低価格で提供できるようになる。

本ソリューションは、エリクソン社がすべてのインフラストラクチャコンポーネントのプライム システム インテグレーターとなり、両社が共同で世界市場に展開する予定という。

## ベトナム最大手通信事業者、クラウド型ビデオ会議サービス開始、ポリコムの「Polycom RealPresence」を採用

米ポリコム社は、ベトナム最大手の通信事業者である Vietnam Post & Telecommunication 社(以下、VNPT)が、企業向けクラウド型ビデオ会議サービス「MegaConference(メガコンファレンス)」を正式に提供開始するにあたり、ポリコム社の「Polycom RealPresence プラットフォーム」を採用したと発表。(米:3 月 8 日、日本:4 月 12 日)

MegaConference サービスは、20 社の企業を対象として 2011 年 12 月からパイロットサービスとして実施されてきた。その間、Polycom RealPresence プラットフォームの導入と運用のサポートは、ベトナムのポリコムパートナーVNCTC 社が提供。ベトナム企業では、ビデオコラボレーションが企業の生産性向上に重要なツールという見方が広がっていることも手伝って、ユーザ企業からのフィードバックはとても良く今回正式サービスとして開始することになった。

サービスは、政府、ヘルスケア、教育、ホスピタリティなどの民間企業まであらゆる業界、組織規模の顧客に対応するため、“4つのレベル”のサービスを提供していくという。

(次のページへ続く)

## 導入・利用動向-国内

### 東京都庁、ニューロネットの Web 会議システム・テレビ会議「SaaSBoard」を導入

ニューロネット株式会社(東京都渋谷区)は、東京都庁がニューロネットの Web 会議システム・テレビ会議「SaaSBoard」を導入したと発表。(4月22日)

東京都庁では、4月からまずは二つの局での SaaSBoard の利用を開始する。その後、新宿にある本庁と約 50 の各支所および関係機関をつないで映像コミュニケーションが行われる予定。

これまで本庁と支所の間を移動して行ってきた対面コミュニケーションをテレビ会議に切り替えることで、都としては、業務効率の向上や災害など緊急時のコミュニケーション手段としても活用するという。

東京都庁 <http://www.metro.tokyo.jp/>

## 導入・利用動向-海外

### GNG、ポリコム社の「Polycom RealPresence」ビデオコラボレーションで世界各国をつなぎ異文化理解の活動を実施

Global Nomads Group(GNG)がポリコム社から支援された「Polycom RealPresence」ビデオコラボレーションソリューションを活用し、14歳から18歳の若者たちに異文化理解を深めさせる活動「YouthTalk」を行っている。米ポリコム社は発表。(米:3月14日、日本:4月12日)

GNGと米ポリコム社は、14年間にわたって、数万人もの世界の若者をビデオ会議システムでつなぎ、イラク戦争に関する討論を行ったり、スーダンのダルフル紛争地域に“ライブ訪問”したり、あるいは、ルワンダのマウンテンゴリラの生息環境の学習を行ったりと、世界の多様な文化への理解を深め、寛容な心を育むためのさまざまなプログラムを実施してきた。

GNGによると、ビデオ会議システムの活用によって、若者たちに役に立つ、インタラクティブなプログラムを多数企画できたという。異文化相互理解はもとより、学びや知識の共有においては、もう時間や距離の障害はなくなったと高く

評価する。さらには、学生向けのプログラムだけでなく、GNGの日々の業務にもビデオ会議は活用されている。また、「Polycom RealPresence Mobile」を使ったタブレット端末によるビデオ会議活用も始まったという。

なお、ユネスコの「Teaching Respect for All」プログラムをブラジルと米国で立ち上げる共同事業についても発表している。

Global Nomads Group <http://gng.org/>

### ポリコム社、人道支援団体 Right To Play が展開する世界の恵まれない子供達の生活向上活動を「Polycom RealPresence」ビデオコラボレーションで支援

ポリコム社は、人道支援団体 Right To Play に「Polycom RealPresence」ビデオコラボレーションソリューションを寄贈したと発表。(米:4月3日、日本:4月20日)

Right To Play は、2000年設立された国際的な人道支援団体。これまでアフリカ、アジア、南アメリカ、中東など20カ国以上の、戦争や貧困、疫病などで恵まれない子供達の生活向上を支援するためのプロジェクトを展開してきた。今回のポリコムの支援によって、Right To Play の活動範囲を広げることができるようになったという。

ポリコムの Polycom RealPresence によって、スタッフ間の連絡やミーティングでの活用の他、カナダトロントの本部から各国に点在する地域の、子供向けに各種プログラムを実施するコーチや活動メンバーに適切な講習やトレーニングをライブ(あるいは録画)で実施することが可能になった。さらには、今後、スマートフォンやタブレット(Polycom RealPresence Mobile)を活用した、Right To Play の活動の支援者が現地の様子をライブで直接知ることができる“バーチャルドナー訪問(virtual donor visits)”も行うという。

ポリコム社では、こういった慈善活動支援は、ポリコム基金(Polycom Foundation)として実施している。ポリコム社のコラボレーションソリューションの寄贈や慈善団体への資金的な援助などが主な支援内容。これまでに、主なものとして、

Global Nomads Group や Medical Missions for Children、Right To Play(今回の発表)などがある。教育やヘルスケア、地域活動などのへの支援を行っている。

Right To Play <http://www.rightright.com>

## セミナー・展示会情報

\*下記リンクからご覧ください。

< 国内 > <http://cna.jp/cna/event-j.html>

### 【iPad 無料セミナー 5月16日】

営業現場や会議室に縛られないビデオ会議での実際  
企業の iPad 活用術セミナー  
即時性や素早い意思決定といった、知的コラボレーションを  
要求するビジネスシーンに焦点

日時:5月16日(水)19:00~20:30

会場:Apple Store, Ginza 3F シアタールーム(東京都中央区)

主催:アルカディン・ジャパン株式会社

詳細・申込:

[http://www.arkadin.co.jp/S-pn-ipad\\_video\\_seminar\\_pr.html](http://www.arkadin.co.jp/S-pn-ipad_video_seminar_pr.html)

### UC サミット 2012

日時:5月16日(水) 9:30~(受付:9:10~)

会場:ベルサール飯田橋ファースト(東京都文京区)

主催:株式会社リックテレコム

詳細・申込:<http://www.ric.co.jp/expo/uc2012/>

### 第3回教育 IT ソリューション EXPO

日時:5月16日(水)~18日(金)10:00~18:00

会場:東京ビッグサイト 西2ホール

主催:リード エグジビション ジャパン株式会社

後援:一般社団法人日本教育工学振興会(JAPET)

詳細・申込:<http://www.edix-expo.jp/Home/>

\*エイネット、共信コミュニケーションズ、  
ソニービジネスソリューション、VQS マーケティング、  
プリンストンテクノロジー (Vidyo、ポリコム)、リコージャパン 他、遠  
隔会議関連の出展社あり。

### 『ビデオ会議システム 円滑運用ノウハウ』ご紹介セミナー 東京・大阪同時開催

~複数メーカー新旧混在、タブレット端末からの接続を実現し  
て既存システムを有効活用~

日時:5月18日(金)14:30~17:25

会場:シスコシステムズ 本社 /大阪オフィス

主催:パナソニック電工インフォメーションシステムズ株式会社

共催:シスコシステムズ合同会社

詳細・申込:

東京:

<https://event.panasonic-denkois.co.jp/public/seminar/view/240>

大阪:

<https://event.panasonic-denkois.co.jp/public/seminar/view/239>

DSol ビデオ会議ソリューション展示会  
- 「臨場感あふれるビデオ会議を実施しませんか?」 -  
~最適な製品のご選定からご導入までご支援いたします~  
日時:5月21日(月)13:30~17:00 (受付 13:00より)  
会場:ダイワボウ情報システム 東京支社(東京都品川区)  
主催:ディーアイエスソリューション株式会社  
共催:シスコシステムズ合同会社、ソニーマーケティング株式会社  
プリンストンテクノロジー株式会社  
詳細・申込:<http://www.dsol.co.jp/seminar-info/detail.html?eid=00221>

## 定期レポート 電子ブック版

CNA レポート・ジャパンでは、毎月2回業界ニュース(定期レポート)を1999年から発行しておりますが、この度、カタログスクウェアさんに、2003年から2011年までの定期レポートを1年毎に合冊していただきました。2012年は1号毎です。

### CNA Report Japan アーカイブ 電子ブック版

2003年-2011年

[http://www.catalog-square.jp/cna\\_report/](http://www.catalog-square.jp/cna_report/)

2012年

[http://www.catalog-square.jp/cna\\_report/2012/](http://www.catalog-square.jp/cna_report/2012/)

定期レポート(PDFファイル)は年間23号発行されておりますが、電子ブックによって1年分を一度にダウンロードできこれまでのように1号毎にPDFをダウンロードする必要はありません。もちろん今までのPDFもアーカイブしています。

電子ブック版は、本のページをめくるようにとても読みやすくなりましたし、また1年単位ですが全文検索もしやすくなりました。定期レポートの読者の皆さんにとっても良いのではないかと思います。

ちなみにこの定期レポートは私にとっては、遠隔会議のリサーチの一環としてまとめているものでもありますし、また、私自身の活動を広げていくためのプラットフォームになっています。

### カタログスクウェア株式会社

<http://www.catalog-square.jp/>

\*遠隔会議業界で長くお勤めされ、今年電子カタログ・ソリューションで起業された方が経営されている会社です。

\*この電子ブック版についてご意見等ございましたらよろしくお願いたします。橋本宛 [cna@cna.jp](mailto:cna@cna.jp)

## 編集後記

今号もお読みいただきましてありがとうございました。

来月は、ラスベガスでInfocomm2012が開催されますが、私として今回は行く予定はありません。個人的には行きたいところですが、最近の燃料サーチャージの高騰によって費用的に厳しいというのが理由です。インターネットや遠隔会議もあるので、まずは日本で出来ることをやっていきます。

次号もよろしくお願い致します。

橋本 啓介